

(3) 総務局

事務事業名 式典事務事業		予算額	1,439
局/部/課	総務局/総務部/総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/1目 一般管理費	予算書P. 81	要求 1,439
<事業の目的・内容> 新年に、市内各界の代表者と市長が一堂に会し、市勢発展に向けて抱負を語り、情報交換の場とすることを目的とした、「さいたま市新年名刺交換会」を開催します。		財政局長	1,439
		市長	1,439
		査定区分	A
		前年度予算額	1,433
		増減	6
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 平和推進事業		予算額	2,331
局/部/課	総務局/総務部/総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/1目 一般管理費	予算書P. 81	要求 2,331
<事業の目的・内容> 「さいたま市平和都市宣言」に基づき、核兵器等の廃絶と世界の恒久平和実現に貢献する取組を展開します。 「さいたま市平和展」及び「さいたま市平和図画・ポスターコンクール」を開催し、戦争の悲惨さやおろかさ、平和の尊さや大切さを後世に伝えるとともに、市民の平和意識の高揚を図ります。		財政局長	2,331
		市長	2,331
		査定区分	A
		前年度予算額	2,331
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 コンプライアンス推進事業		予算額	3,095
局/部/課	総務局/総務部/法務・コンプライアンス課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/1目 一般管理費	予算書P. 81	要求 3,095
<事業の目的・内容> 市民に信頼される誠実な行政運営の実現を図るため、職員のコンプライアンス意識の維持・向上に継続して取り組み、各局・区におけるコンプライアンスの取組を支援するとともに、内部統制制度を円滑に運用するための取組を実施します。		財政局長	3,095
		市長	3,095
		査定区分	A
		前年度予算額	2,418
		増減	677
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 浄書印刷事業		予算額	90,833
局/部/課	総務局/総務部/総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/3目 事務管理費	予算書P. 81	要求 94,027
<事業の目的・内容> 共用複写機を設置し台数や使用枚数を適正に管理すること、比較的簡易な印刷業務を印刷センターへ集中化させて行うこと、及び軽印刷機を使って職員自らが印刷を行うことにより、浄書印刷の経費抑制と事務の効率化を図ります。		財政局長	90,727
		市長	90,727
		査定区分	B
		前年度予算額	89,932
		増減	901
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%以上100%未満 C:査定率60%以上80%未満 D:査定率40%以上60%未満 E:査定率40%未満
 ※ 効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 文書管理事業		予算額	586,298
局/部/課	総務局/総務部/総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/3目 事務管理費	予算書P. 81	要求 588,070
<事業の目的・内容> 各課における文書事務を統括し、公文書の適正かつ効率的な処理及び管理を行います。		財政局長	588,070
		市長	588,070
		査定区分	A
		前年度予算額	756,162
		増減	△ 169,864
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 総務管理事業		予算額	1,789
局/部/課	総務局/総務部/総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/3目 事務管理費	予算書P. 81	要求 1,789
<事業の目的・内容> 市議会及び局・部・課内外との連絡調整や事務遂行に当たり、執務環境を整えることにより、効率的かつ効果的な事務の遂行を支援します。		財政局長	1,789
		市長	1,789
		査定区分	A
		前年度予算額	1,824
		増減	△ 35
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 訟務事務事業		予算額	9,917
局/部/課	総務局/総務部/法務・コンプライアンス課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/3目 事務管理費	予算書P. 81	要求 9,917
<事業の目的・内容> 顧問弁護士による法律相談及び弁護士への訴訟委任を実施し、法的な対応及び判断を明確なものとしします。		財政局長	9,917
		市長	9,917
		査定区分	A
		前年度予算額	10,364
		増減	△ 447
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 議案作成等事業		予算額	699
局/部/課	総務局/総務部/法務・コンプライアンス課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/3目 事務管理費	予算書P. 83	要求 699
<事業の目的・内容> 市議会における審議が円滑に行われるよう、見やすく適切な議案書を作成します。		財政局長	699
		市長	699
		査定区分	A
		前年度予算額	915
		増減	△ 216
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%以上100%未満 C:査定率60%以上80%未満 D:査定率40%以上60%未満 E:査定率40%未満
 ※ 効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と予算額が異なります。

事務事業名 法規事務事業		予算額	11,808
局/部/課	総務局/総務部/法務・コンプライアンス課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/3目 事務管理費	予算書P. 83	要求 11,808
<事業の目的・内容> 市の条例、規則等を掲載した例規集について、情報公開コーナー、インターネット等により情報提供を行います。また、法令参考図書を整備及び他の地方公共団体との情報交換などにより、行政上の諸問題についての調査研究等を行います。		財政局長	11,808
		市長	11,808
		査定区分	A
		前年度予算額	11,891
		増減	△ 83
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 行政不服審査事務事業		予算額	8,129
局/部/課	総務局/総務部/法務・コンプライアンス課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/3目 事務管理費	予算書P. 83	要求 8,129
<事業の目的・内容> 市長が審査庁となる不服審査事務を一元的に行うことにより、審査の中立性及び公平性を確保します。		財政局長	8,129
		市長	8,129
		査定区分	A
		前年度予算額	7,802
		増減	327
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 人事管理事務事業		予算額	437,026
局/部/課	総務局/人事部/人事課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/5目 人事管理費	予算書P. 83	要求 446,092
<事業の目的・内容> 市民サービスの向上を図るために、職員の採用・退職管理・定員管理・人事評価・適材適所の人事配置等職員の適正な人事管理を行います。		財政局長	443,610
		市長	443,610
		査定区分	B
		前年度予算額	249,893
		増減	187,133
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 職員安全衛生管理事業		予算額	157,257
局/部/課	総務局/人事部/職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/5目 人事管理費	予算書P. 83	要求 154,961
<事業の目的・内容> 職員の労働安全衛生と健康管理に係る事業を実施し、意識の向上・安全の確保・健康の保持及び増進を図り、快適な執務環境の整備と事務の効率化を促します。		財政局長	153,309
		市長	153,309
		査定区分	B
		前年度予算額	149,507
		増減	7,750
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%以上100%未満 C:査定率60%以上80%未満 D:査定率40%以上60%未満 E:査定率40%未満
 ※ 効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と予算額が異なります。

事務事業名 公務災害補償及び認定・審査会事務事業		予算額	914
局/部/課	総務局/人事部/職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/5目 人事管理費	予算書P. 83	要求 914
<事業の目的・内容> さいたま市議会の議員又は非常勤職員の公務・通勤災害に対する補償の実施及び認定委員会・審査会の開催・運営等、被災職員の損害に対して必要な補償等を行い、職員や遺族の生活の安定と福祉の向上を図ります。		財政局長	914
		市長	914
		査定区分	A
		前年度予算額	1,050
		増減	△ 136
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 給与管理事業		予算額	2,218
局/部/課	総務局/人事部/職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/5目 人事管理費	予算書P. 83	要求 2,218
<事業の目的・内容> 職員給与について、本市人事委員会勧告等を考慮し、適正な給与制度を構築するとともに、効率的かつ正確な支給を行います。 また、市長等の給料の額等を審議する、さいたま市特別職報酬等審議会の運営を行います。		財政局長	2,218
		市長	2,218
		査定区分	A
		前年度予算額	2,285
		増減	△ 67
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 職員福利厚生事業		予算額	3,888
局/部/課	総務局/人事部/職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/5目 人事管理費	予算書P. 83	要求 3,888
<事業の目的・内容> 職員の元気回復を図り、公務能率の増進に資することを目的に、適正な福利厚生事業を実施します。		財政局長	3,888
		市長	3,888
		査定区分	A
		前年度予算額	4,737
		増減	△ 849
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 職員研修事業（人材育成課）		予算額	23,332
局/部/課	総務局/人事部/人材育成課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/5目 人事管理費	予算書P. 83	要求 23,332
<事業の目的・内容> 自治体を取り巻く様々な環境の変化や直面する行政課題に対応できる職員の育成を図るために、基本研修をはじめ、課題別研修、派遣研修、所属内研修への支援等を実施します。		財政局長	23,332
		市長	23,332
		査定区分	A
		前年度予算額	23,425
		増減	△ 93
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%以上100%未満 C:査定率60%以上80%未満 D:査定率40%以上60%未満 E:査定率40%未満
 ※ 効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と予算額が異なります。

事務事業名 職員研修センター管理運営事業		予算額	35,752
局/部/課	総務局/人事部/人材育成課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/5目 人事管理費	予算書P. 83	要求 56,929
<事業の目的・内容> 職員研修センターの施設及び設備の維持管理を行います。		財政局長	35,752
		市長	35,752
		査定区分	C
		前年度予算額	36,836
		増減	△ 1,084
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 外部監査事業		予算額	18,143
局/部/課	総務局/総務部/総務課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/9目 行政管理費	予算書P. 87	要求 17,930
<事業の目的・内容> 地方自治法の規定に基づき、本市の組織に属さない外部の専門家である公認会計士、弁護士、税理士等と包括外部監査契約を締結し、監査報告を受けることなどにより、適切な行政管理を行います。		財政局長	17,930
		市長	17,930
		査定区分	A
		前年度予算額	17,930
		増減	213
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 市史編さん事業		予算額	55,856
局/部/課	総務局/総務部/アーカイブズセンター	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/9目 行政管理費	予算書P. 87	要求 57,536
<事業の目的・内容> 本市の歴史的変遷の過程を記録し未来へ継承するため「さいたま市史」を編さんします。また、歴史資料を収集し、適切に整理・保存するとともに市民共有の知的資源として活用を図ります。		財政局長	55,856
		市長	55,856
		査定区分	B
		前年度予算額	60,363
		増減	△ 4,507
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 情報公開制度推進事業		予算額	17,231
局/部/課	総務局/総務部/行政透明推進課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/9目 行政管理費	予算書P. 87	要求 17,231
<事業の目的・内容> 市民の知る権利を保障する情報開示制度と、市の保有する個人情報の適正な取扱いを確保する個人情報保護制度の事務を行うとともに、市政に関する正確で分かりやすい情報を市民が迅速かつ容易に得られるよう市政の「見える化」を推進します。また、情報公開・個人情報保護審査会等の附属機関の運営を行います。		財政局長	17,231
		市長	17,231
		査定区分	A
		前年度予算額	40,267
		増減	△ 23,036
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%以上100%未満 C:査定率60%以上80%未満 D:査定率40%以上60%未満 E:査定率40%未満
 ※ 効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と予算額が異なります。

事務事業名 恩給支給事務事業		予算額	945
局/部/課	総務局/人事部/職員課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/19目 恩給及び退職年金費	予算書P. 93	要求 945
<事業の目的・内容> 共済組合制度移行前の永年勤続者の遺族の生活を支えることを目的に、遺族扶助料を支給します。		財政局長	945
		市長	945
		査定区分	A
		前年度予算額	945
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 危機対策事業		予算額	19,634
局/部/課	総務局/危機管理部/危機管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書P. 109	要求 21,132
<事業の目的・内容> 危機管理体制の拠点施設となる「さいたま市危機管理センター」を運用し、自然災害や事件・事故・感染症などの市民生活を脅かす危機事案に対し、危機発生時の初動対応を確保するための体制を充実させるとともに、職員の危機管理意識の向上・強化を図ります。さらに、市民が安全に安心して暮らせる地域社会を実現するため、セーフコミュニティの取組を進めていきます。		財政局長	19,634
		市長	19,634
		査定区分	B
		前年度予算額	36,323
		増減	△ 16,689
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 防災対策事業		予算額	268,208
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書P. 109	要求 278,861
<事業の目的・内容> さいたま市被害想定調査の結果による避難者数を基に、計画的かつ近年の大規模災害を踏まえた備蓄に努めるとともに、避難所の防災倉庫等の保守管理を行います。また、令和元年台風第19号などを教訓に、地域防災計画を改定するとともに、災害時において、住民が迅速かつ適切な避難行動をとることができるように、防災行政無線等の整備や防災ガイドブックの印刷・配布などを行います。		財政局長	268,386
		市長	268,386
		査定区分	B
		前年度予算額	200,172
		増減	68,036
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 防災訓練事業		予算額	46,097
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書P. 109	要求 46,140
<事業の目的・内容> 地域防災計画や本市における令和元年台風第19号の経験を踏まえ、防災体制の充実強化及び防災関係機関相互の連携強化を図るとともに、「自助」「共助」「公助」それぞれの役割に応じた、災害対応力の向上及び市民等の防災意識の高揚を図ることを目的に関連する訓練を実施します。		財政局長	46,140
		市長	46,140
		査定区分	A
		前年度予算額	51,437
		増減	△ 5,340
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%以上100%未満 C:査定率60%以上80%未満 D:査定率40%以上60%未満 E:査定率40%未満
 ※ 効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 自主防災組織育成事業		予算額	135,601
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書P. 109	要求 135,601
<事業の目的・内容> 「自分たちのまちは自分たちで守る」のスローガンのもと、災害時に地域住民が団結して地域を守る自主防災組織の結成促進及び育成強化を図ります。また、防災士を育成するとともに地域防災力向上の担い手である防災アドバイザーを自主防災組織等に派遣し、地区防災計画の策定支援やDIG、HUG等の図上訓練を実施することで、地域防災力の向上を図ります。		財政局長	135,601
		市長	135,601
		査定区分	A
		前年度予算額	137,520
		増減	△ 1,919
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
事務事業名 災害応急対策事業		予算額	3
局/部/課	総務局/危機管理部/防災課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/9項 危機管理費/1目 防災総務費	予算書P. 109	要求 674,003
<事業の目的・内容> 災害発生時、被害が発生した場合に応急対策を行い、被害を最小限に食い止めることを目的とします。		財政局長	674,003
		市長	3
		査定区分	E
		前年度予算額	3
		増減	0
査定の考え方	実施時期を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%以上100%未満 C:査定率60%以上80%未満 D:査定率40%以上60%未満 E:査定率40%未満
 ※ 効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と予算額が異なります。